

処方箋監査時の運用方法について

MediMonitorでの監査には2種類の運用方法があります

1. 「カゴ」を利用して管理
2. 患者ごとに管理

※設定はいつでも変更可能で、端末によって別々の設定をすることも可能です

1. 「カゴ」を利用しての運用について



「カゴ」を利用して(カゴ管理)の運用ケース

- ・レセコンから処方箋データが転送されるより**前**にMediMonitorでピッキングを開始したい場合
- ・予製を多く管理する必要がある

※外来が多い、1台で運用する場合などにオススメ

1. カゴ管理のメリット・デメリット



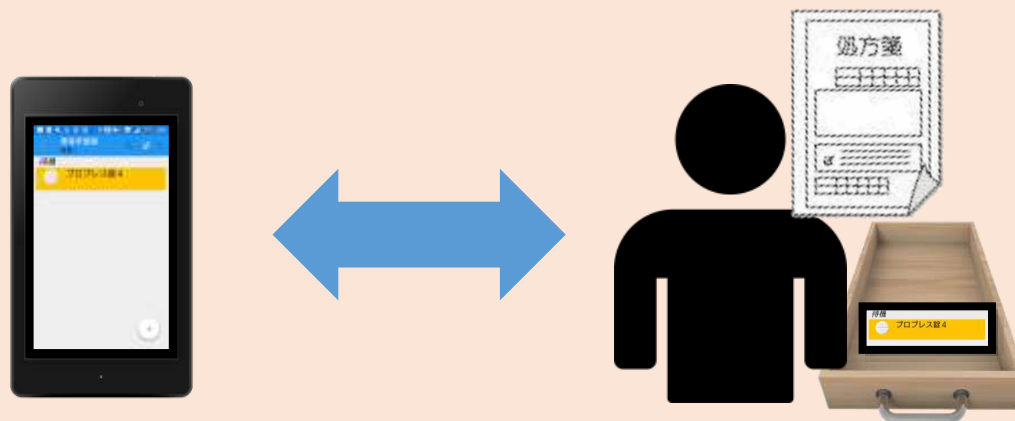
メリット

病院が違う場合の予製、施設の監査など
様々な条件での監査に対応できる

デメリット

管理が複雑になる

2. 患者ごとに管理しての運用について

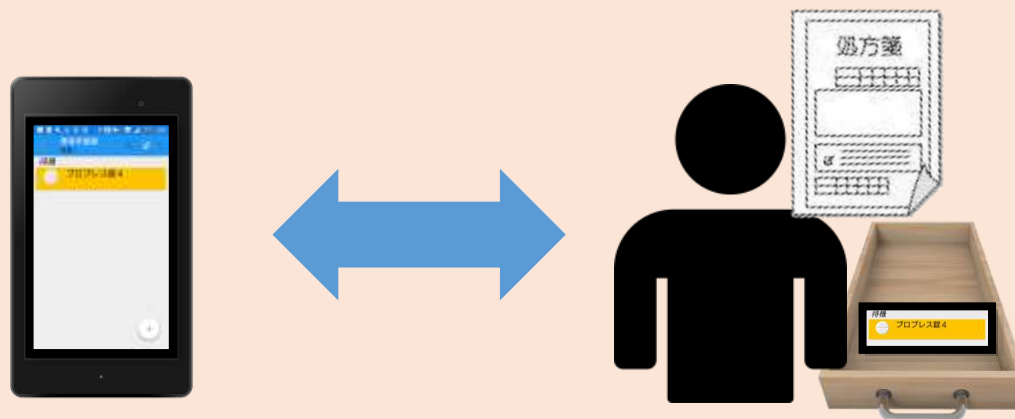


患者ごとに管理（患者管理）の運用ケース

- ・管理をシンプルにしたい
- ・複数端末で1人の患者を同時に監査したい

※施設の患者が多い、複数台での利用が多い場合にオススメ

2. 患者管理のメリット・デメリット



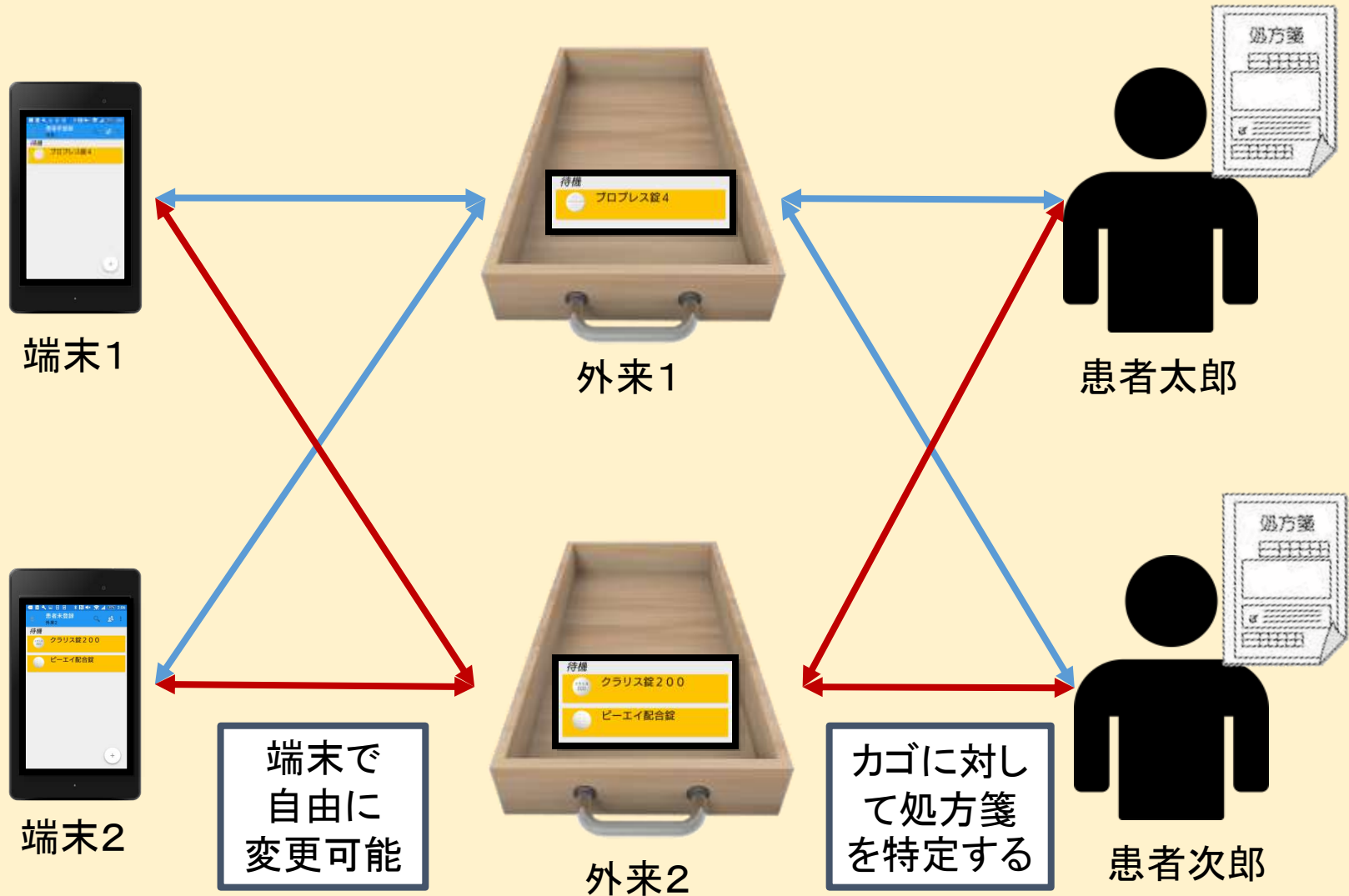
メリット

管理が簡単で分かりやすい

デメリット

事前のピックアップや、病院が違う場合の予製など、複雑なケースに対応できない

1. カゴ管理の概要



1. カゴ管理は処方情報がなくてもピッキングOK



端末1



外来1



端末2



外来2

端末で
自由に
変更可能

「カゴ」を利用する場合、
処方情報がない場合でも
「カゴ」に医薬品を登録
(保存)できる

1. カゴ管理の[予製]について



外来1

予製1



外来2

予製2

予製に関して

「カゴ」に登録(保存)した医薬品について

監査完了か、削除をしない限り永遠に残り続ける

→監査したい患者が来た時に、予め登録した「カゴ」を呼び出すと医薬品が復元できる

「カゴ」の名前は好きな名前を自由に設定可能
※保存は無制限

1. カゴ管理の[予製]について

カゴ名「予製1」に「患者太郎」の予製をする場合の流れ



カゴ名を今回は「予製1」に設定



「患者太郎」の予製したい処方情報呼び出す



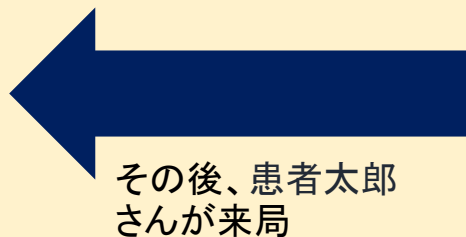
「予製1」に医薬品を登録する
※監査完了はさせない

(監査完了すると「カゴ」の医薬品情報が削除されるため)

※監査完了処理をさせない「カゴ」を作成することもできます

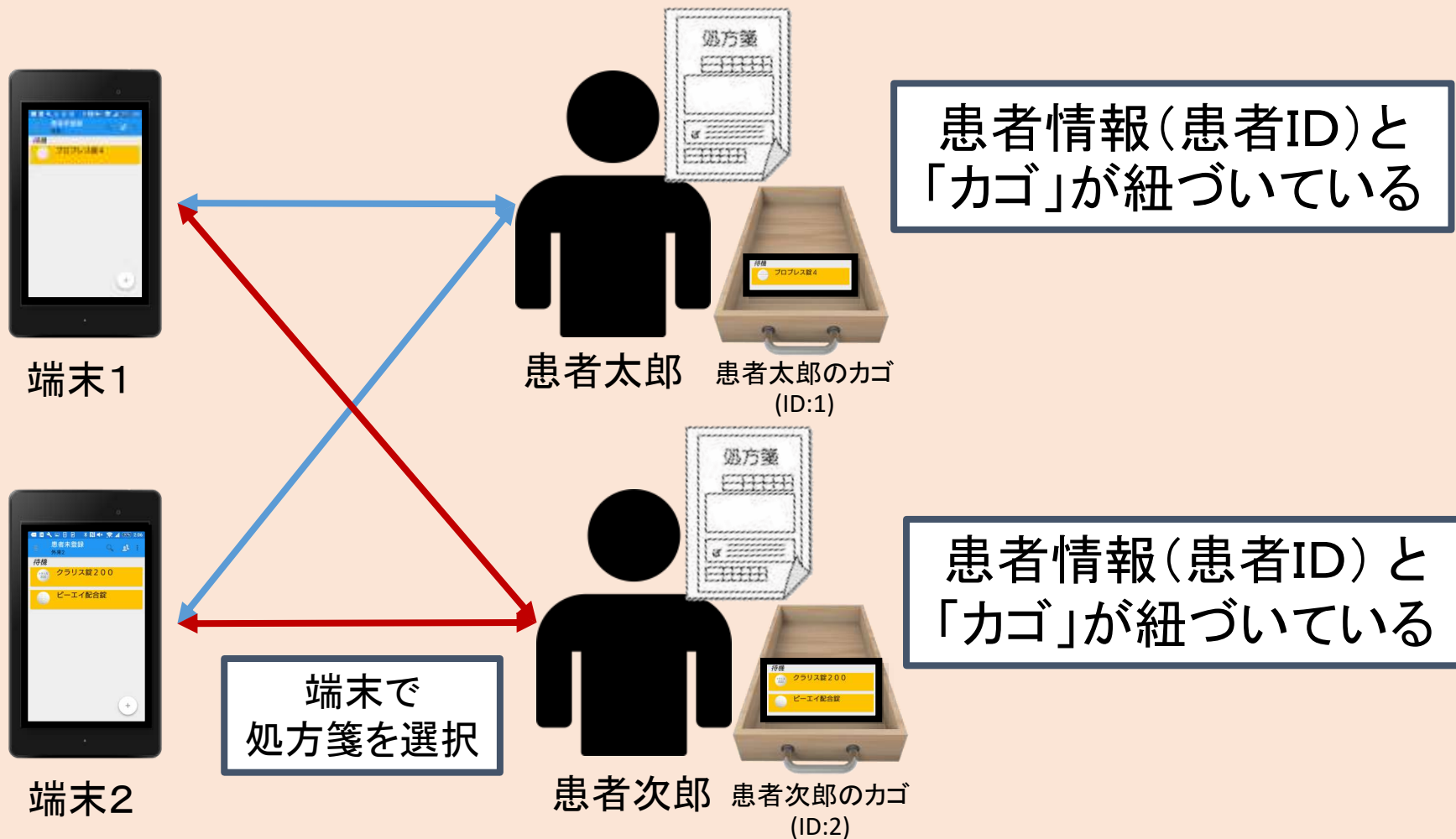


カゴ名を「予製1」に変更すると、登録した医薬品、処方情報が復元される



カゴ名を外来用のカゴ「外来1」に変更
※カゴの中身は自動保存されている

2. 患者管理の概要



※患者管理は処方箋を選択するたびに、その患者IDを「カゴ名」として登録する処理が行われる設定になります

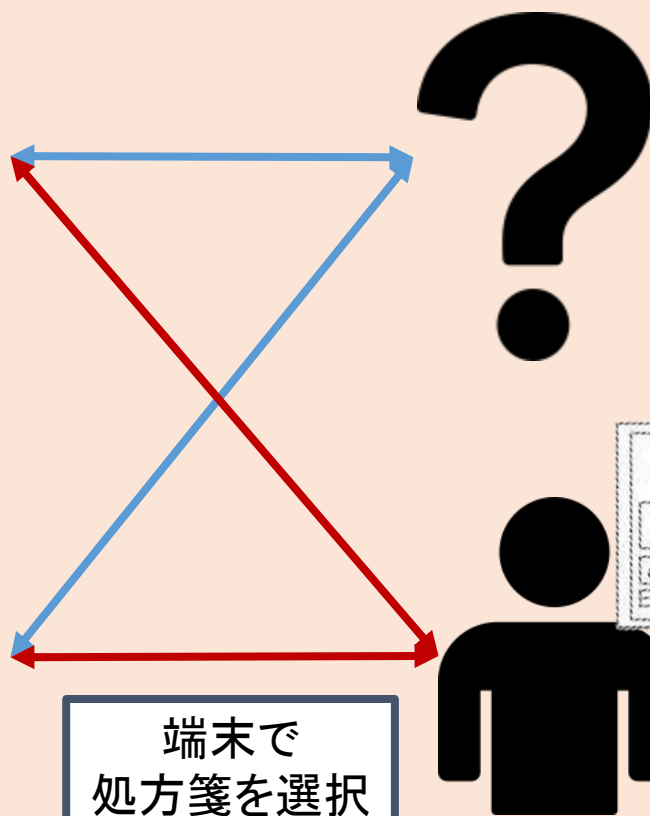
2. 患者管理は患者情報が必要



端末1



端末2



端末で
処方箋を選択

患者次郎 患者次郎のカゴ
(ID:2)

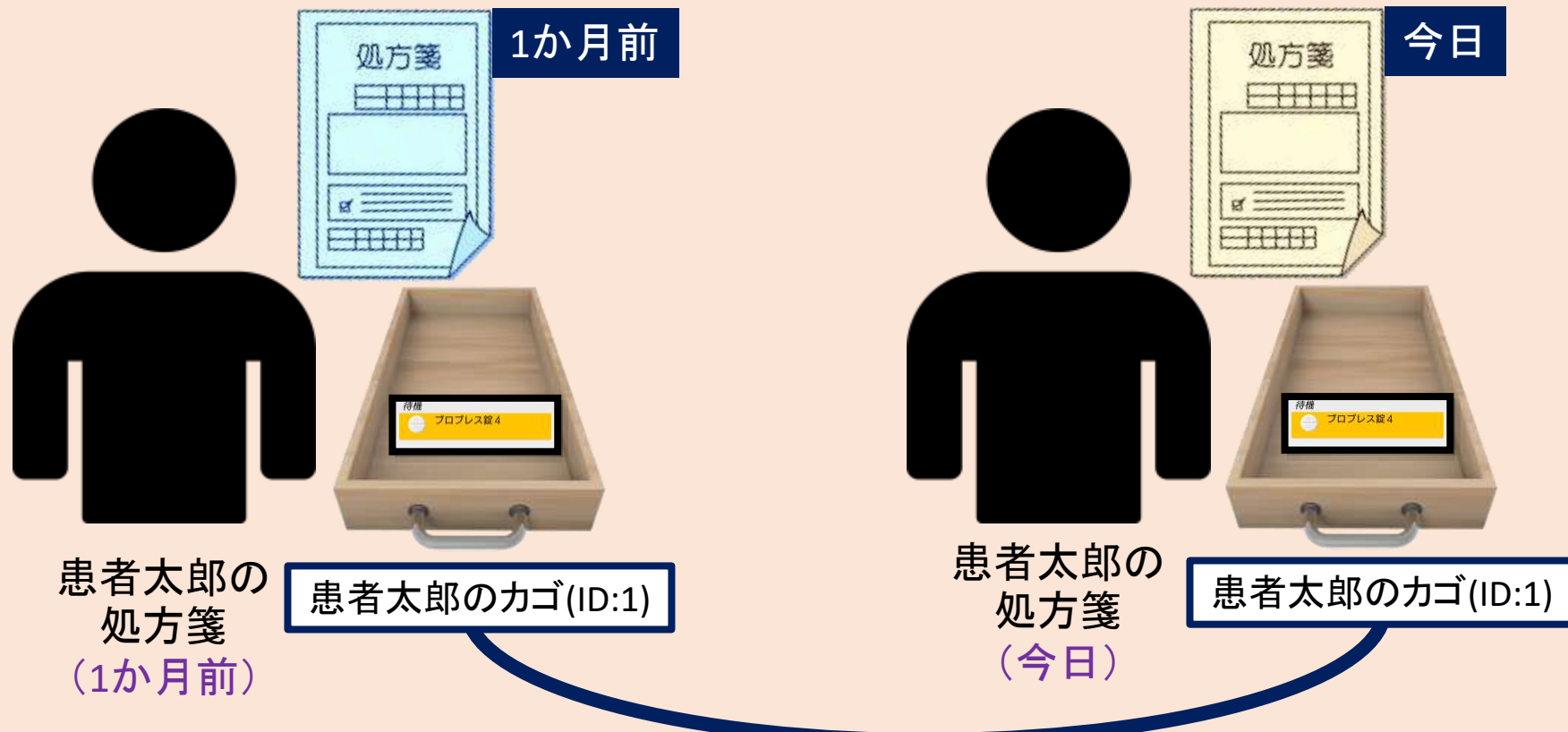
患者情報(患者ID)が分からないと
医薬品を登録する「カゴ」が特定できない
→医薬品の登録はレセコンの入力
が完了するまで待つ必要がある
※事前に患者IDの「カゴ」を設定した場
合は予めピックアップできます

同じ患者であれば処方箋が変
わっても同じ「カゴ」が使用される

※患者管理は処方箋を選択するたびに、その患者IDを
「カゴ名」として登録する処理が行われる設定になります

2. 患者管理の「カゴ」について

同じ患者であれば、同じ「カゴ」についての解説



同じ患者であれば同じ患者IDのため「カゴ」の名前も同じになる
→同じ患者では「カゴ」の医薬品情報を共有できる

2. 患者管理の[予製]について

患者に対し「カゴ」で医薬品情報は共有できるため、同じクリニックに対しての予製は可能です



予製方法

1. 事前に過去の処方情報呼び出す
2. その患者の「カゴ」に医薬品を登録する
3. 監査完了処理をしない(監査完了すると「カゴ」の医薬品情報が削除される)
→患者に対しての「カゴ」に医薬品が残るため、次回同じ患者を呼び出したときに「カゴ」の中身が復元される

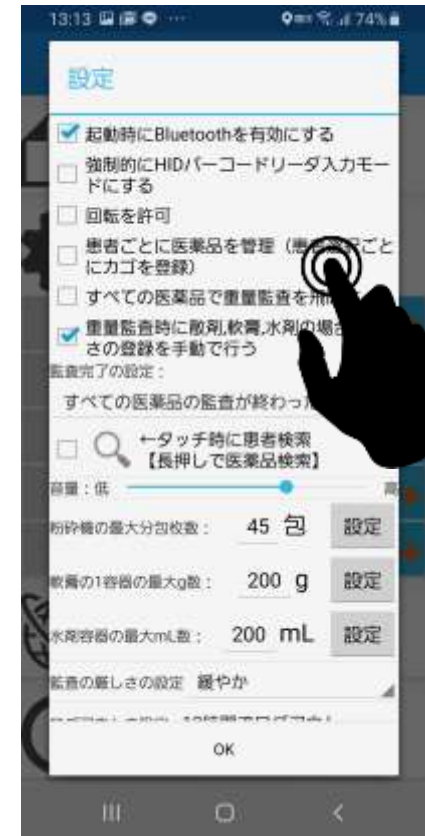
カゴ管理⇔患者管理の変更方法



周辺設定をタッチ



アプリ設定をタッチ

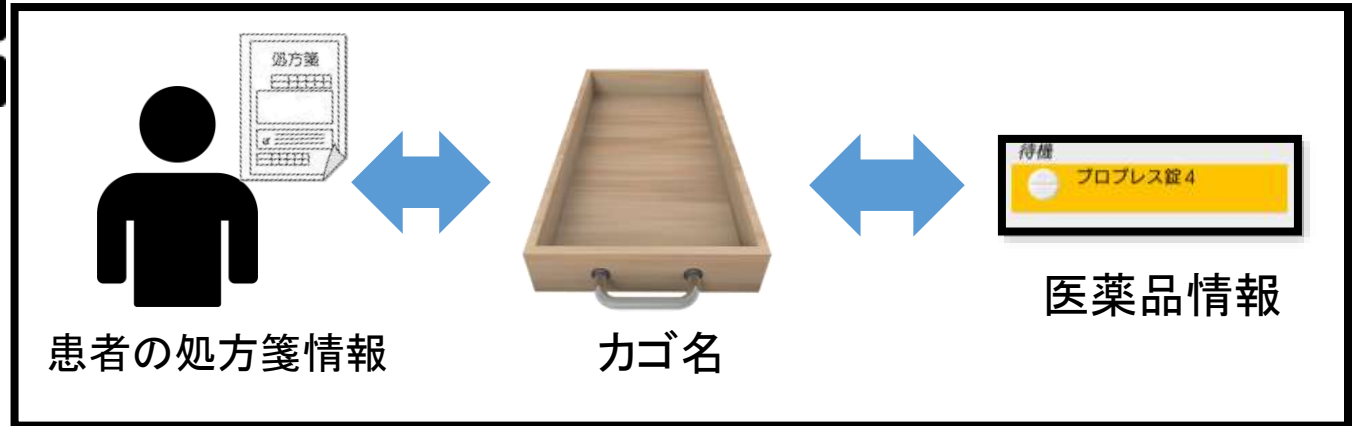


- ・「カゴ」を利用して管理したい場合
→「患者ごとに医薬品を管理」のチェックを外す
- ・患者ごとに管理したい場合
→「患者ごとに医薬品を管理」にチェックする

複数端末で情報共有が可能



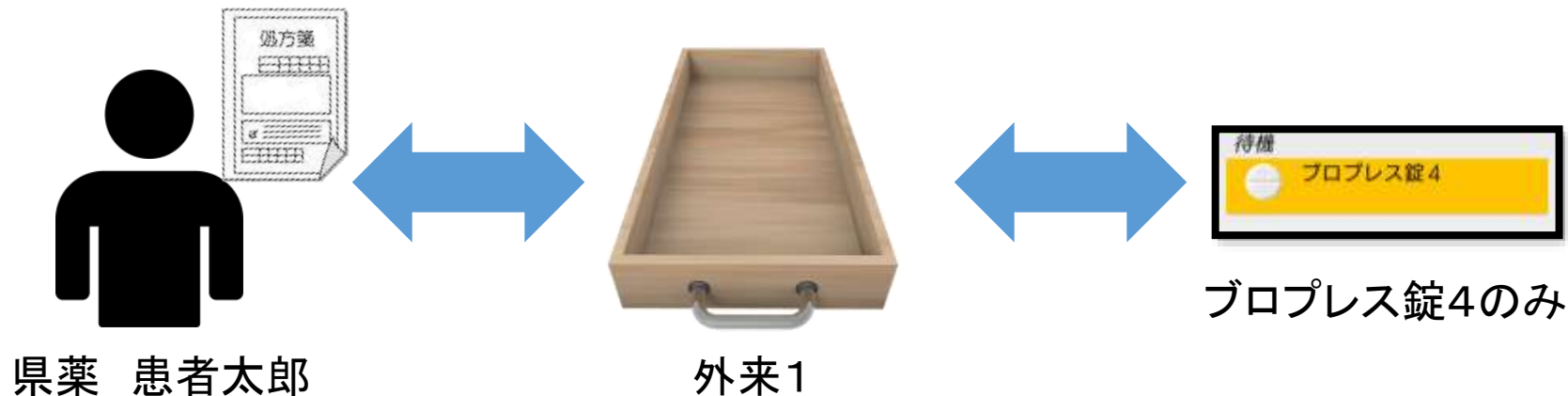
オンラインで保存



カゴ名、医薬品情報、処方箋情報についての情報はすべてサーバーに保存されています。

どの端末からであっても同じ「カゴ名」なら同じ情報が共有されて表示されます

複数端末で利用する場合の動作(同じカゴ)



端末1:カゴ名【外来1】



同じカゴであれば
同じ情報を表示



端末2:カゴ名【外来1】

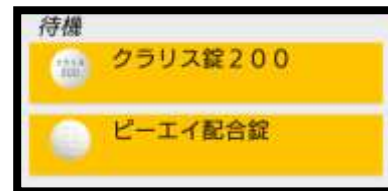
複数端末で利用する場合の動作(違うカゴ)



県薬 患者次郎



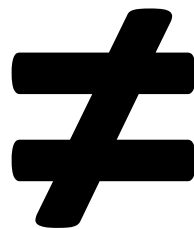
外来2



クラリス錠200
ピーエイ配合錠



端末1:カゴ名【外来1】

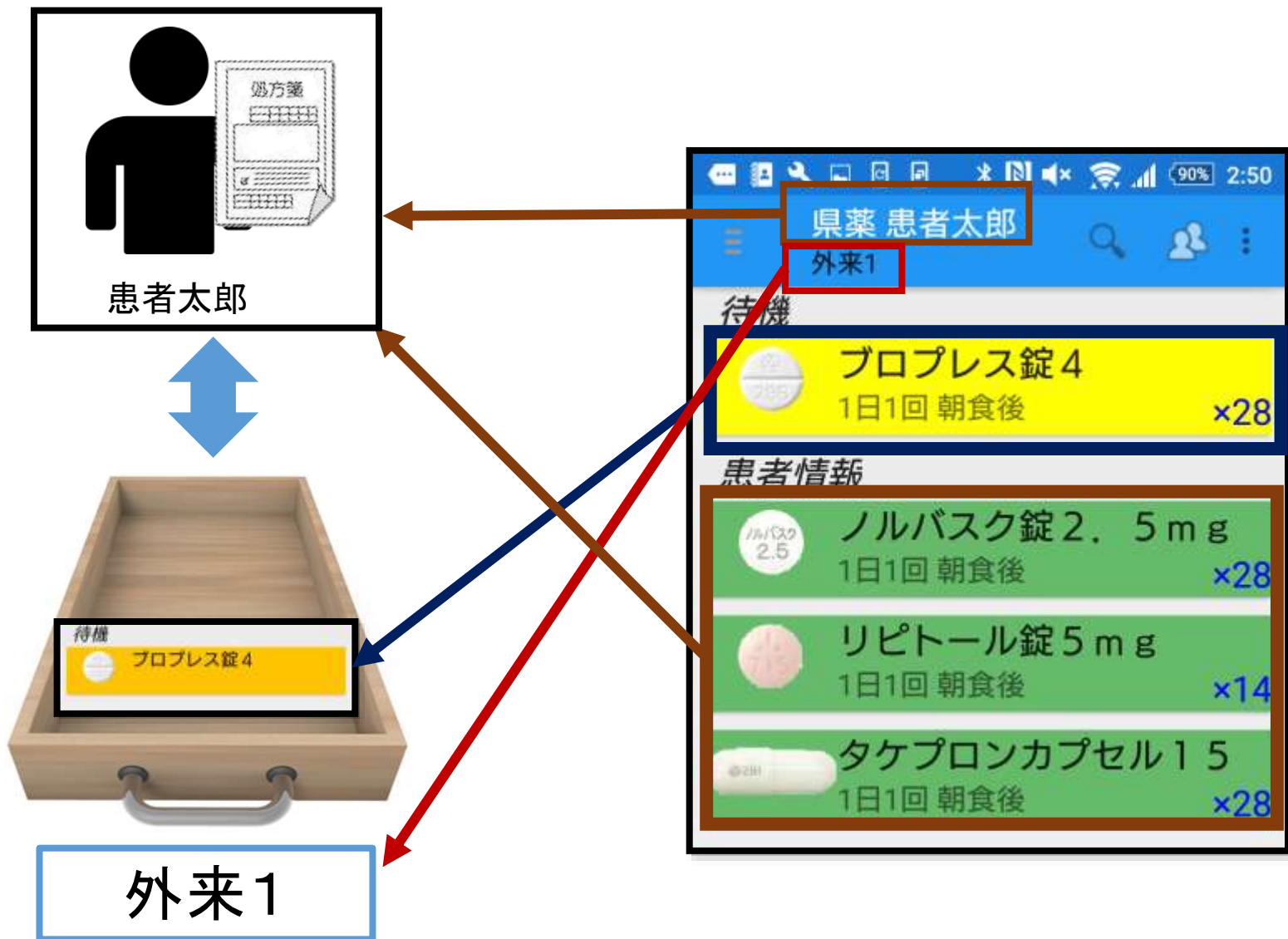


違うカゴなので、それぞれ
の情報を表示



端末2:カゴ名【外来2】

実際の画面での相関関係



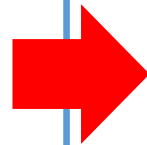
カゴの変更方法



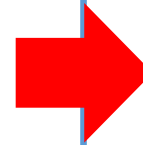
「外来1」
のカゴの状態



カゴ情報「外来2」を登録した
バーコードをスキャンする



OR



右上の：をタッチしてカゴ名の変更を選択

変更したいカゴ名を入力する



カゴ情報が
「外来2」
に変わる